

通し番号	5237
------	------

分類番号	R06-44-12-04
------	--------------

県育成品種アオキ‘湘南おりひめ’は‘湘南ひこぼし’台の接ぎ木苗で生育が早まる	
[要約] 初期生育が遅い‘湘南おりひめ’の育苗は、接ぎ木することで挿し木より生育が早まり、‘湘南ひこぼし’台での生育が優れている。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部	連絡先 0463-58-0333

#### [背景・ねらい]

当所育成品種のアオキ‘湘南おりひめ’は、散り斑の細い葉が特徴で観賞性が高いものの、初期生育が遅いため、生育を早める増殖技術が求められている。そこで、‘湘南ひこぼし’、‘星宿り’、‘エメラルド’を台木とした接ぎ木による生育促進効果を検討する。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 接ぎ木の成苗率は挿し木より劣るものの(表1)、生育は接ぎ木が挿し木より早く、‘星宿り’台の4年生苗の分枝数は7.3本、葉数は51.7枚となり、挿し木苗の分枝数4.4枚、葉数37.1枚に比べて多い(表2、図1)。
- 2 台木品種により成苗率に差があり、‘エメラルド’は‘星宿り’、‘湘南ひこぼし’より低くなる(表1、表3)。
- 3 ‘星宿り’、‘湘南ひこぼし’、‘エメラルド’を台木とした接ぎ木3年生苗の生育は、茎長は‘星宿り’が29.0cm、‘湘南ひこぼし’は30.5cmと同程度となり、分枝数と葉数は‘星宿り’で5.2本、37.7枚、‘湘南ひこぼし’で8.6本、49.5枚となり、‘湘南ひこぼし’で優れている(表4)。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 台木に供した‘湘南ひこぼし’は‘湘南おりひめ’と種子親が同一、‘星宿り’は‘湘南おりひめ’の花粉親である。また、‘エメラルド’は青葉の品種である。
- 2 ‘湘南ひこぼし’は葉が散り斑で‘湘南おりひめ’と類似しているため、台芽が出芽した際、混同しやすいので注意する。
- 3 接ぎ挿しは台木の育成が不要であるものの、活着率と成苗率が低く、効率が悪い。

[ 具体的データ ]

表 1 接ぎ木苗と挿し木苗の成苗率

増殖方法 (台木品種)	接ぎ木 (星宿り台)	接ぎ木 (エメラルド台)	挿し木
成苗率(%)	76	45	100

星宿り台 n=45、エメラルド台 n=47 挿し木 n=50  
接ぎ木2021/7/8、挿し木2021/6/17、調査日2022/5/12

表 2 接ぎ木苗と挿し木苗の生育

増殖方法 (台木品種)	接ぎ木 (星宿り台)		接ぎ木 (エメラルド台)		挿し木	
	3年 <sup>z</sup>	4年 <sup>y</sup>	3年	4年	3年	4年
分枝数(本)	4.5±2.0 <sup>x</sup>	7.3±3.5	3.0±0.9	7.0±2.9	2.7±0.8	4.4±2.4
葉数(枚)	27.1±11.8	51.7±18.9	17.6±9.0	46.7±18.7	12.6±5.4	37.1±18.9

接ぎ木2021/7/8、挿し木2021/6/17

<sup>z</sup>調査日2024/5/29、<sup>y</sup>調査日2025/5/16、<sup>x</sup>平均値±標準偏差



図 1 接ぎ木苗と挿し木苗の生育

左：接ぎ木（星宿り台）、中央：接ぎ木（エメラルド台）、右：挿し木  
撮影 2025 年 7 月 14 日（4 年生苗）

表 3 台木の異なる接ぎ木苗の成苗率

台木 品種	星宿り	エメラルド	湘南ひこぼし
成苗率(%)	90	50	80

n=20、接ぎ木2022/6/22 調査日2023/5/9

表 4 台木の異なる接ぎ木苗の生育

台木品種	星宿り		エメラルド		湘南ひこぼし	
	2年 <sup>z</sup>	3年 <sup>y</sup>	2年	3年	2年	3年
分枝数(本)	2.7±0.9 <sup>x</sup>	5.2±2.6	3.2±1.7	5.3±2.2	4.5±3.3	8.6±6.6
葉数(枚)	15.7±5.7	37.7±13.8	15.2±8.4	42.0±15.9	25.3±17.5	49.5±33.2
茎長(cm)	-	29.0±7.2	-	26.1±4.4	-	30.5±5.5

接ぎ木2022/6/22、<sup>z</sup>調査日2024/6/7、<sup>y</sup>調査日2025/5/16、<sup>x</sup>平均値±標準偏差

[ 資料名 ] 令和 2 ～ 6 年度試験研究成績書

[ 研究課題名 ] ‘湘南おりひめ’ の効率的な育苗方法の開発

[ 研究期間 ] (2019(R 1)～2024(R 6)年度)

[ 研究者担当名 ] 田所 賢弥、山元 恭介

[ 協力・分担関係 ]